

## 指導と評価の年間計画（論理・表現Ⅰ）

岐阜県立土岐紅陵高等学校

科目	論理・表現Ⅰ		学年	1	指導クラス	全クラス	
単位数	2	使用教科書	ATLANTIS LOGIC & EXPRESSION Ⅰ STANDARD (CHEERS)			副教材・問題集等	スタディサプリ Basic

### 1. 科目の目標

中学における学習を踏まえた上で、「話すこと」「書くこと」を中心とした発信力の強化を目指す。【具体的な取り組み】日常的话题について、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、

- ・ 話すこと(やり取り) ①情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。②ディベートやディスカッションなどの活動の場で、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。
- ・ 話すこと(発表) ①情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。②スピーチやプレゼンテーションなどの活動の場で、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。
- ・ 書くこと ①情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。②聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。

### 2. 評価の観点の趣旨

知識・技能(技術) a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組み態度 c
・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションの場面において、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えを活用して適切に表現したり伝えたりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

### 3. 指導及び評価計画

月	単元	指導項目	予定時間	主な学習活動(指導内容)と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4	Lesson 1 I like to meet new people	・ 自分自身について話し、相手について知る内容 ・ 不定詞、動名詞 ・ 「自分の好きなこと」について述べる ・ 「相手の好きなこと」について質問する	5	【知識・技能】・不定詞、動名詞の用法を理解する。 ・ 自分自身について話し、同様の質問を相手に尋ねることで、相手のことを知る技能を身につける。 【思考・判断・表現】・聞き手に自分のことをよく理解してもらえるように、「好きなこと」について多岐にわたって伝えることができる。	小テスト 定期考査 ワークシート	○	○	○
	Lesson 2 I usually wake up at 7:00 in the morning	・ 日課を説明する内容 ・ 頻度に関する副詞 ・ 「日課」について述べる、質問する	8	【知識・技能】・頻度に関する副詞を理解する。 ・ 自分自身の日課について頻度の表現を用いて話して伝えあう技能を身につける。 【思考・判断・表現】・自分自身のことについて頻度の表現を用いてより詳しく表現できる。 ・ Yes/No Answerに頻度を加えて答えることができる。	小テスト 定期考査 ワークシート	○	○	○
前期中間考査			1					
6 7	Lesson 3 How about going shopping?	・ 招待、承諾、拒否をする/趣味について話す内容 ・ 提案の基本型 ・ 応答する	13	【知識・技能】・提案の基本型を理解する。 ・ 写真を見て相手を招待し、それに承諾・拒否を伝える技能を身につける。 【思考・判断・表現】・誘ったり誘われたりしたとき円滑なコミュニケーションを続けることができる。	小テスト 定期考査 ワークシート インタビューテスト	○	○	○
	Lesson 4 You should visit Kyoto	・ アドバイスをする/文化の違いについて話し合う内容 ・ アドバイスの基本型 ・ 助言する	8	【知識・技能】・ should と had betterを用いたアドバイスの基本型を理解する。 ・ マッチングクイズを用いて状況で使い分けるアドバイスの技能を身につける。 【思考・判断・表現】・外国人にアドバイスする対話文を読み、アメリカと日本の習慣の違いについて学ぶことができる。	小テスト 定期考査 プレゼンテーション[S.P]	○	○	○
前期末考査			1					
11	Lesson 5 A pizza delivery person has to wear a uniform	・ アルバイトについて話す/日本と米国の高校生活の違いを討論する内容 ・ 許可の基本型 ・ 比較する、討論する	8	【知識・技能】・ must /have to / canを用いた許可の基本型を理解する。 ・ アメリカと日本の高校の規則を比較し、違いについて討論する技術を身につける。 【思考・判断・表現】・規範を守る大切さや考え方を討論形式で伝え合うことができる。	小テスト 定期考査 ワークシート	○	○	○

11	Lesson 6 How was your vacation?	・今まで体験した休暇について話す内容 ・過去形 was / were/ did ・感想を尋ねる・答える	7	【知識・技能】・過去形 was / were/ didを理解する。 ・過去のことについて感想を尋ねる技能を身につける。 【思考・判断・表現】・How was～?とHow were～?の単数形複数形の使い分けができる。・How was/ were～?をDid you～?に置き換えて質問し、正しく応答できる。	小テスト 定期考査 ワークシート	○	○	○
	後期中間考査		1					
12 ・ 1	Lesson 7 What did you do last weekend?	・何をしたか、について尋ね合うやり取りをする内容 ・過去形/WH 疑問詞+一般動詞 ・過去の事実を述べる	11	【知識・技能】・過去形/WH 疑問詞+一般動詞を理解する。 ・過去にしたことについて尋ね合う技能を身につける。 【思考・判断・表現】・話すこと(やり取り)をこれまで学んできた学習内容を振り返りながら行うことができる。	小テスト 定期考査 ワークシート ペア会話発表[S.I]	○	○	○
	後期期末考査		1					
2	Lesson 8 I used to live in America.	・子供時代について話す内容 ・I used to と過去形 ・かつてしていたことについて述べる	6	【知識・技能】・I used to と過去形を理解する。 ・アメリカでの生活を通して、生活体験についてやり取りをする技能を身につける。 【思考・判断・表現】・アクティビティから自分の過去について、一歩踏み込んだ表現ができるようになる。	小テスト 定期考査 ワークシート	○	○	○
	後期期末考査		1					
			70	※「主体的に学習に取り組む態度」は、「思考・判断・表現」と一体的に評価する。 S.I=「話すこと[やりとり]」、S.P=「話すこと[発表]」				

4. 「話すこと[やりとり]」と「話すこと[発表]」を評価するパフォーマンステスト実施計画

【前期】

月	単元	パフォーマンステストの種類	評価領域	評価の実施形態等
6	Lesson 4	プレゼンテーション	話すこと[発表]	授業内での発表(発表をタブレットに録画)

【後期】

1	Lesson 7	ペア(グループ) 会話発表	話すこと[やりとり]	授業内での発表(発表をタブレットに録画)
---	----------	---------------	------------	----------------------

\* 「書くこと」の評価については、ワークシートおよび定期考査で評価する。